

# 4年ぶりVならず

## 高校ラグビー 県決勝 岡工に12-29及ばず

花園につながるラグビーの第95回全国高校大会県予選は3日、決勝を長野市の南長野運動公園総合球技場で開き、飯田が12-29で岡谷工に競り負けた。岡工は4年連続30度目の優勝を果たし、飯田の4年ぶり優勝はならなかった。

均体重差で8キある庄力を崩すことができず、攻める機会を得ることができなかった。

飯田は、後半に入っても流れを変えることができず、36分にモールから得点を奪われると、45分にはキックパスからのトライを決められ点差が開いた。

優勝を果たし、飯田の4年ぶり優勝はならなかった。全国大会は12月27日、東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開かれる。

決勝は7年連続で同じ顔合わせとなった。前半岡工に3トライを決められリードを許した飯田は、後半2トライを決めて逆転に望みをかけたものの、及ばなかった。

前半は、岡工が体重差のあるFWを生かしてボールとエリアを支配。得意とするモールで主導し8分、25分、29分と立て続けにゴールラインを割り、得点を重ねた。

対する飯田は、後半に入っても流れを変えることができず、36分にモールから得点を奪われると、45分にはキックパスからのトライを決められ点差が開いた。

ようやく持ち味を生かした攻撃でリズムをつかんだのは残り10分。相手ディフェンスをかかわして密集から抜け出したCTB黒沢が50キを駆け抜ける独走トライ。56分には早いパス回しからCTB大平がインゴールの中央に向かう切れのある走りで2本目を決めたが、昨年の雪辱を果たすことは出来なかった。

展開力で上回る飯田は、岡工のモールを止めてボールを動かす対策を練ったものの、平



岡工の重量FWに立ち向かう飯田

「前半は2年生が硬かった(湯沢監督)」とハンドリングミスと反則が目立ち、ゴールを背負っての苦しい展開。相手のリスクの少ない確実な戦法は、分

かかっていても止められない。体格差は難しい」と前半は22分トライを1度も超えることができなかった。後半に入っても得点を重ねられなかった。後半にも、湯沢監督は「ゲームが決まっていた」と厳しい口調。ボールを動かさな

かった前半を悔やみ、「前半最後のトライが痛かった」と肩を落とした。主将のロック嶋本は「悔しくてしょうがない」と胸を張った。

い。モールを止めるアレーも考えたが、イメージと少し違った」と試合終了後から涙が止まらなかった。中学時代はバソコン部。高校から始めたラグビーは同級生と4人でつくり上げてきた。「こんなに悔しい思いをさせてくれたラグビーに感謝したい」と胸を張った。



主将のロック嶋本は「悔しくてしょうがない」と胸を張った。

### ▽決勝

飯田 12 (120 | 1019) 29 岡谷工

飯田	0	T	0	飯
	0	G	0	田
	0	P	0	
	19	前	2	
	2	T	1	
	0	G	0	
	0	P	0	
	10	後	12	
	29	計	12	
岡谷工	3	T	0	
	2	G	0	
	0	P	0	
	19	前	2	
	2	T	1	
	0	G	0	
	0	P	0	
	10	後	12	
	29	計	12	

▽交代【岡】徳永(荒道)	岡谷工	FW	山原優	飯田	間田原
			北村川		岩川栗
岡谷工	HB	中島北	岩川栗	田原本	中沢科
		百中内	栗嶋牧	内中沢	田井嶋
岡谷工	TB	加高三	嶋牧田	塩仁儀	宮黒大
		宮吉荒	田塩仁	儀宮黒	大壬熊
岡谷工	FB	竹	田塩仁	儀宮黒	大壬熊
		花	田塩仁	儀宮黒	大壬熊